

# 令和7年度の障がい理解啓発に係る主な取組み等について

## 1 SNSでの周知

### (1) ホームページでの分かりやすい周知啓発

障害者差別解消法という法律の周知だけでなく、具体的な内容や、障がい理解を深めるための内容を、分かりやすい表現やクイズ形式にするなど方法を工夫し、大田区公式X及びホームページで配信しています。パンフレット等で周知するより気軽に目に留めてもらい、障がい理解につなげることを目的としています。

区ホームページ  
「もっと！身近な  
障害者差別解消法」



### (2) 手話の紹介動画の配信

今年の6月25日には、「手話に関する施策の推進に関する法律」が施行されました。大田区では、令和2年9月に「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」を制定しています。法律及び区条例において、手話に関する理解を促進することが含まれています。

区公式チャンネル  
再生リスト  
「手話動画」



日常でも使える手話を語源も合わせてショート動画形式で紹介することで、まずは手話に興味を持ってもらうことを目的としています。

動画は、大田区公式X及び大田区公式チャンネル(YouTube)に配信しています。

## 2 「手話言語の国際デー」(9月23日(火・祝))の取組

### (1) 概要・目的

令和5年度から「手話言語の国際デー(9月23日)」にブルーライトアップ等を実施しています。令和7年度は、東京2025デフリンピックの開催年でもあることから、デフリンピックの認知度を高め、区内の気運を盛り上げていくことや、手話が言語であることの理解を促進することを目的として、以下のとおり取組みました。

### (2) ブルーライトアップ

#### ア 日時

令和7年9月23日(火・祝) 18時から24時まで

#### イ 場所

(ア) 大田区役所

(イ) 羽田イノベーションシティ

(ウ) 障がい者総合サポートセンター

(エ) 大田区総合体育館 ※

(オ) 大森 海苔のふるさと館 ※



大森海苔のふるさと館



大田区総合体育館

※東京2025デフリンピック競技会場及び近隣施設では、大会メインカラーである桜色のライトアップも行いました。

(3) 周知啓発活動

- ア ポスター展示
- イ 大田区公式チャンネル (YouTube) での周知用動画配信
- ウ 大田区公式Xでの投稿
- エ 大田区役所内デジタルサイネージ放送
- オ ブルーライトアップと合わせて、大田区役所・障がい者総合サポートセンターの入口にて大型モニターで放映を実施(映像内容は、鈴木区長メッセージ、大田区聴覚障害者協会及び十文字学園女子大学手話サークルによる手話歌、手話のショート動画)。

3 「東京2025デフリンピック」キャラバンカー巡回セレモニーの実施

(1) キャラバンカーの目的

- ア 東京2025デフリンピックの認知度向上及び気運醸成
- イ 手話言語やろう者の文化の発信・理解促進
- ウ 多様性と共生社会 (SDGs) の推進
- エ 日本代表選手や各国選手への応援を全国から届ける

(2) 大田区の巡回日時

令和7年11月10日(月) 午後1時から午後2時まで

(3) 巡回場所

大田区総合体育館(バスケットボール会場)

(4) セレモニー内容

パネル・メダル展示、手話クリアファイル等の配布、東京2025デフリンピック出場選手挨拶、記念撮影等



4 障害者週間(12月3日～9日)の取組

(1) 懸垂幕の掲出

今年度新たに懸垂幕を作成し、12月1日(月)から10日(水)まで、区役所本庁舎及び4地域庁舎に掲出しました。

(2) 区報一面・四面(11月11日号)に掲載

東京2025デフリンピックについてや障害者週間、障がい理解について掲載いたしました。

(3) おおた みんなのつどいプロジェクト総括イベント(12月6日(土)開催)

第1部では、地域共生社会の実現に向けて、様々な場で活躍されている障がいのある方々や、障がい理解啓発の取組みをされている団体への表彰を行いました。



た。

第2部では、デフアスリートの伊東勇哉選手の講演会や、よしもと手話ブ！、大根ちやまによるステージイベントを実施しました。積極的にSNSで周知を行った結果、多くの方が来場され、障がい理解の啓発につながりました。

## 5 課題解決に向けた東京工科大学との社会連携実習（主な取組状況）

### （1）事業概要

東京工科大学のデザイン学部の学生たちに、障がいへの理解促進をテーマに課題解決に取り組んでいただいています。主に、学生たちと同じ年代の方に広く周知するためどのような啓発活動が効果的か提案をいただくことと、関心を持ってもらえるような心に残るポスターのデザイン案を依頼しています。

### （2）取組状況

学生たちが障がいのある方が利用する施設を見学したり、障害福祉課と打ち合わせを行いながら、課題解決に向けて取り組んでいます。1月28日（水）にこれまでの成果をまとめた最終報告をいただきます。（報告いただいた内容は会議の中で報告いたします。）